

盗難件数年間6,080件！“誰かの愛車”が、毎日盗まれているという現実。 「世界初*」の最新型セキュリティサービスで車両盗難という社会課題を解決

「1日約17件——日本で“誰かの愛車”が盗まれている事実をご存知ですか？」

メディアが扱うべき“いま起きている防犯の最前線”——自動車盗難という日常に潜む重大な犯罪に対して、株式会社Secual（本社：東京都渋谷区、代表取締役：菊池 正和、以下「Secual」と三井住友海上火災保険株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：舩曳 真一郎、以下「三井住友海上」）、Global Mobility Service株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：中島 徳至、以下「GMS」）が業務提携し、最新テクノロジーで新たな社会課題を解決します。

2025年8月、Secualは世界初、自宅と車を1つのアプリで守ることができる統合型スマートセキュリティサービス『Secual Smart Security（セキュアルスマートセキュリティ）』の提供を開始します。これまでご自宅の安心・安全サービスとして後付け型のホームセキュリティ機能を提供してきた『Secual Home（セキュアルホーム）』にカーセキュリティ機能を統合。デジタル盗難手口が巧妙化し、増加傾向にある車両盗難犯罪に、最新技術で対応します。

本資料ではSecual Smart Securityの詳細をまとめています。是非ご確認ください。

*自社調べ

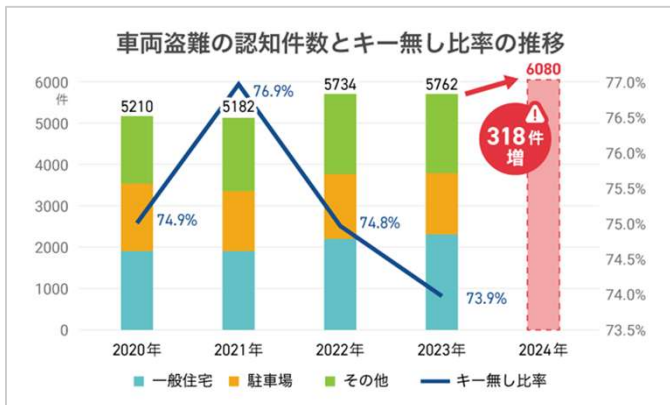
最新の統計からみる車両盗難

年間6,080件／1日約17件 —— “鍵を壊さず”奪われる車が急増

近年、車両盗難は件数・金額ともに確実に増加傾向にあります。

警察庁によると、2024年には全国で6,080件(前年比+318件)が認知され、1日平均17件以上が発生している状況です。たとえば、愛知県では1年間で866件(+168件)、埼玉県では781件(+98件)と大幅に増加。狙われる車種は「ランドクルーザー」や「プリウス」「アルファード」など、市場価値の高い国産車が中心です。海外の流通ルートが確立している車種はいずれもゲームボーイなど電波利用型手口*に弱いことが理由と考えられます。

*スマートキー(キーレスエントリー) 車両の電波を悪用して盗難を行う犯罪手口

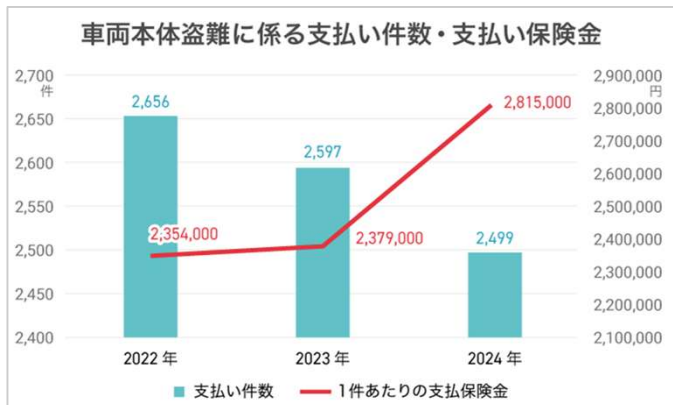


盗難車種ランキング			2024年度版	都道府県ランキング		
			盗難台数			
1位	トヨタ	ランドクルーザー	1,064台	1位	愛知県	866件 (+168件)
2位	トヨタ	プリウス	539台	2位	埼玉県	781件 (+98件)
3位	トヨタ	アルファード	488台	3位	千葉県	706件 (-40件)
4位	トヨタ	レクサスLX	230台	4位	茨城県	567件 (-48件)
5位	トヨタ	ハイエース	170台	5位	神奈川県	536件 (+75件)
6位	トヨタ	レクサスRX	165台	6位	大阪府	417件 (-30件)
7位	ダイハツ	ハイゼット	103台	7位	栃木県	318件 (+73件)
8位	トヨタ	クラウン	101台	8位	群馬県	274件 (+83件)
9位	スズキ	キャリイ	96台	9位	東京都	223件 (+33件)
10位	トヨタ	レクサスLS	76台	10位	兵庫県	150件 (+26件)

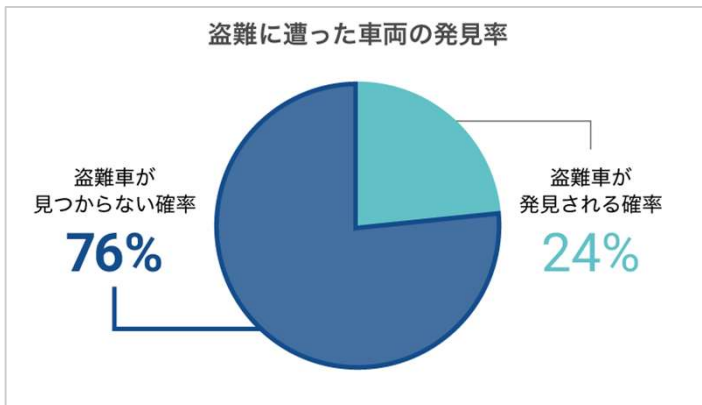
警察庁「自動車盗難等の発生状況等について」をもとに作成

また、盗難被害による経済的インパクトも深刻です。日本損害保険協会によると、2024年に支払った1件あたりの平均保険金額は281.5万円にのぼり、盗難が発生するたびに社会全体の負担も積み上がっているのが現実です。

盗難された車両のうち、約70%が発見されず戻ってこないというデータも。一度盗まれてしまえば、ほとんどが転売・解体され行方不明になるため、「未然に防ぐ」ことが最大の防犯対策です。



日本損害保険協会「第26回 自動車盗難事故実態調査結果」をもとに作成



日本損害保険協会「第22回 自動車盗難事故実態調査」をもとに作成

巧妙化・無音化する“最新の盗難手口”

2025年も増加傾向。首都圏を中心に頻発する組織的かつ大胆な事件

車両盗難都道府県ランキング上位に入る各県警によると、今年に入ってから盗難認知件数は急増しています。特に、愛知県、埼玉県、神奈川県では、昨年を大きく上回るペースで事件が多発しており、各県警が対策を呼びかけています。

また、盗難車の多くはその後、コンテナに入れられ国外へ不正に輸出されたり、一時的にヤードに保管後、国内の中古車オークションなどで違法に販売されている状況も浮き彫りになっています。

盗難件数（前年同月比）

愛知県	567件（+199件）
埼玉県	422件（+59件）
神奈川県	320件（+123件）

愛知県警、埼玉県警、神奈川県警が公表している
自動車盗難発生状況をもとに作成(2025年5月末時点)



愛知県内での盗難車
横浜税関で不正輸出未遂
(2025年5月)



愛知県・岐阜県での盗難車
さいたま市のヤードで発見
(2025年4月)

犯行時間は「最短1分」

かつての車両盗難は、窓ガラスを割り、イグニッションをこじ開けるような「物理的破壊」による犯行が主流でした。しかし最新の車両盗難は、「音を立てず、数分で終わる」ものが多くなっています。犯行機器がインターネットで簡単に手に入るため、キーエミュレーター（通称「ゲームボーイ」）やCANインベーターなどの犯罪手口が多用され、車両は無傷のまま、30秒以内に持ち去られるケースも珍しくありません。



これらの手口は、高度で巧妙であり、ロックされた車両も簡単に解錠され、盗まれてしまいます。このように進化した犯行手口に対して、従来のハンドルロックやイモビライザー、セキュリティアラームなどのカーセキュリティ製品では防ぎきれないのが現状です。

“クラウド型”という新しい選択肢で車両盗難という社会課題に挑む

✔ “愛車”も“自宅”も同時に守る、Secual Smart Security（カーセキュリティ機能）

家も車も“スマホひとつで管理”

Secual Smart Securityなら、アプリひとつで車と自宅のセキュリティを一括管理。離れた場所から、いつでもセキュリティON/OFF操作や、状態の確認を行うことができます。

クラウドでつながるから、もっと安心

- ・世界中どこからでもセキュリティをON/OFF
- ・GPSで車の位置を特定
- ・異常を検知すると、クラウド経由で即時スマホに通知
- ・エンジンやバッテリー、車載機の状態を遠隔から確認
- ・家族と共有利用可能

世界初。

大切な自宅も、車も
アプリひとつで守れます。

Smart Home Security × Smart Car Security.

Secual Smart Security カーセキュリティ機能の特徴



全てのデジタル盗難手口を
ブロック*1

最新の盗難手口全てに対応し、エンジン
始動不可にすることで車両盗難を防止



世界中どこからでも
スマホで遠隔制御*2

車両に取り付けた専用機器をスマホから
遠隔でON/OFF制御



万が一の時は
GPS機能で追跡可能

万が一盗難に遭ってしまった場合でも、
GPS追跡機能により車両位置を特定

*1 車両盗難の防止を保証するものではありません。*2 ご利用のスマートフォンが通信圏内で、車両が日本国内の通信圏内にいることが前提です。

【業界初！】遠隔起動制御技術を採用

SecualとGMSは、GMSの持つ車両の遠隔制御技術をGMS社提供サービス以外にカーセキュリティ用途で利用できる唯一のパートナーとして業務提携を締結。

「カーセキュリティ＝物理的に“ロックする”」という常識を変えるのがSecual Smart Securityです。

※この技術はモビリティサービス協会のガイドラインに準拠している安心の車両遠隔制御技術です。

モビリティサービス協会ガイドライン準拠



充実のサポート



幅広い車種に対応

国産車2,916車種*に対応。全国の提携
取付店にて出張取付も可能。

*2025年7月末時点



お客様サポート

専用のサポートセンターで24時間365
日お客様をサポート。



機器補償特典

機器が不慮の事故等で正しく動作しな
くなった場合の本体費用を補償。

カーセキュリティ製品・サービスとの比較

車両盗難対策として市販されているカーセキュリティ製品は数多くありますが、実はそれぞれカバーできる範囲が限られています。そのため、多くのユーザーが複数の防犯対策を「組み合わせる」対処せざるを得ませんでした。しかし、それではコストも手間もかかり、決して万全とは言えないのが現実です。

【一般的な市販製品の特徴】

● イモビライザー系（エンジン制御系）

専用キーが必要、デジタル盗難手口（リレーアタック等）には
無力なケースが多い

● アラーム系（威嚇型）

ドア開けや振動を感知して音や光で威嚇するが、実際に車両の
持ち去りを防ぐ力は弱い

Secual Smart Securityは、デジタル盗難手口から物理的な窃盗まで、あらゆる手口に対応。さらに、万が一盗まれてもGPS機能で追跡できるので回収確率を高めます。

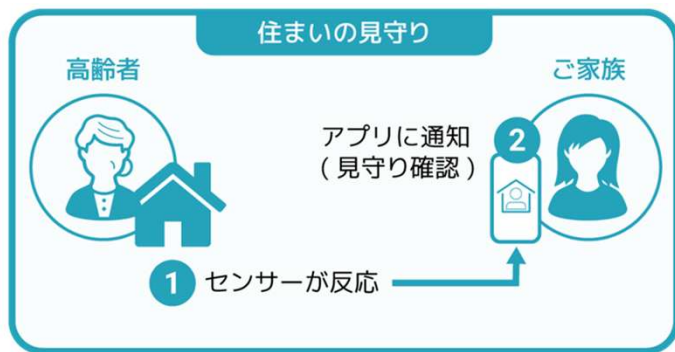
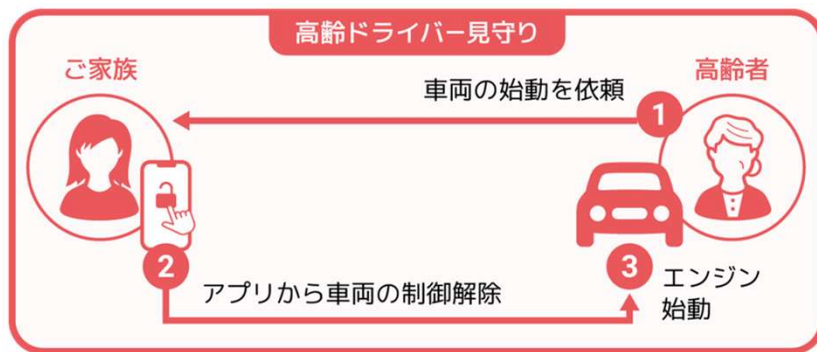
		Secual	デジタルイモビライザー	セキュリティアラーム
機能	スマホ対応	スマホで遠隔操作	専用キー△が必要	×
	GPS追跡	専用アプリで車両位置を確認	×	×
	拡張性	ホームセキュリティと統合	×	×
サービス	対応車種	国産車2,916車種	国産車・輸入車に幅広く対応	国産車・輸入車に幅広く対応
	セキュリティレベル	すべての盗難手口に有効	すべての盗難手口に有効	威嚇のみ
	サポート	24時間365日専用コールセンター / 機器補償	×	×
価格		初期費用：79,800円 / 月額費用：1,280円	初期費用：約15万円～	初期費用：約30～40万円

✓ 高齢者・家族見守りにも活用できるスマートセキュリティ

Secual Smart Securityのカーセキュリティ機能は、**高齢ドライバーによる事故の予防**にも貢献します。

昨今、高齢ドライバーによる逆走やアクセルとブレーキを踏み間違えるなどの操作ミスによる事故が後を立ちません。地方自治体や警察庁は運転免許証の自主返納を働きかけていますが、人手不足等により公共の移動手段が不足しており、進んでいないのが実態です。

Secual Smart Securityを高齢のご家族の車両に取り付け、セキュリティをONにさせていただくことで運転を抑止。電話などで安全を確認した上で、運転を許可する（セキュリティをOFFにする）など、離れて暮らすご家族が見守り機能として利用することができます。



✓ スマートホームセキュリティとの統合で、暮らし全体に“安心”をプラス！

Secual Smart Securityの中核を担うのが、Secualのホームセキュリティサービス「Secual Home」。

これまで多くのご家庭で採用されてきた“スマホで手軽に操作・管理できる防犯サービス”です。

・開閉センサー

窓やドアの振動・開閉を同時に検知。
異常を検知すると、アプリに**リアルタイムで通知**。

・人感センサー

室内の人の動き、室温・湿度を検知。
ペット・高齢者の見守り用途にも活用可能。

・ゲートウェイ

異常を検知すると、**大音量のブザーで侵入者を威嚇**。

・アプリ通知&遠隔管理

外出先でも自宅の異常を可視化。

・警備会社の駆け付け対応も可能（オプション）



株式会社Secual
代表取締役CEO 菊池正和

◆カーセキュリティサービス提供の想いと今後のビジョン

昨今、**車両盗難**は後を立たないどころか増加傾向にあり、新たな社会課題となっています。自動車メーカーもイモビライザーや指紋認証など対策を強化していますが、すぐにそれを破る手段が登場し、**純正サービスでは防ぎきれていないのが実情**です。家と車は個人のプライベート空間かつ憩いの場であり、こだわりの詰まった大切な場所です。その場所を違法な窃盗集団が荒らすのを見逃すことはできません。

これまでスマートホームセキュリティを提供してきた当社がカーセキュリティに対応することで、**世界で初めて家と車を同時に守ることができるSecual Smart Securityを提供**することができました。家のスマート化や車両のEV化により、エネルギーマネジメントの領域で進む、家と車の連携と同様、**セキュリティの領域で家と車を近づける唯一の企業**になります。

今後もSecualは、本サービスによる車両盗難撲滅を目指すとともに、高齢ドライバーの無理な運転による事故の抑止、家や車から得られる様々なライフデータの活用など、お客様や地域のニーズを捉えた積極的な新サービスの開発・提供により、スマートセキュリティカンパニーとしての役割を果たして参ります。

デモ取材・取材協力のご案内

【体験可能な内容】

- ・アプリでセキュリティをONにするとエンジンがかからないデモンストレーション
- ・GPS機能で車両の位置を確認するデモンストレーション
- ・アプリ画面上で車両情報や通知履歴等の確認
- ・ホームセキュリティとの統合イメージの紹介

【ご協力可能な形態】

- ・防犯アドバイザー・代表インタビュー対応
- ・自治体・法人向けへの応用可能性の取材対応
- ・導入ユーザーの声（条件により紹介可）
- ・ホームセキュリティ：Secual本社内デモルームでの実機デモ
- ・カーセキュリティ：サービス搭載車でのデモ



デモルーム
(Secual本社内)



サービスを搭載した車両

「カーセキュリティは、音が鳴るだけじゃ守れない」――
そんな問題提起から始まる、新しいセキュリティの形を、ぜひ一度現場でご体感ください。
ご希望の媒体・企画にあわせた表現のカスタマイズも可能ですので、必要に応じてお申し付けください。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社Secual

事業戦略室 広報担当：大野（080-3728-7459）

メールアドレス：pr@secual-inc.com